12月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手　石原　恭

行った主な活動

剪定・誘引

　11月に引き続き、梨の樹の剪定および誘引作業を行った。不要な枝を切り落としながら樹形を整え、翌年の生育や作業のしやすさを意識して枝の配置を調整した。剪定後は枝を棚に沿って誘引し、全体のバランスを見ながら配置した。
　作業内容自体は11月と大きく変わらないが、作業の流れを把握したうえで、一本一本の枝をより落ち着いて観察しながら進めることができた。

活動を行った感想など

　11月と比較すると、剪定では判断に迷う時間が減り、作業をスムーズに進められるようになったと感じた。
　誘引についても、枝同士の距離感や全体のバランスを意識しながら配置できるようになり、生育や管理作業に無駄の少ない樹形を考えられるようになってきた。

今後の目標など

　剪定・誘引作業も折り返しを迎えており、今後はさらに気温が下がる中での作業が続くため、体調管理に十分注意しながら取り組んでいきたい。また、剪定ばさみを使用する作業が中心となるため、怪我や事故のないよう安全面にも配慮し、集中力を保ちながら丁寧な作業を心掛けていきたい。